

**ワクチン接種は
予約が必要です。**

※電話、LINEなどで予約をされ
ていない方は接種できません

新型コロナウイルス ワクチン接種について

1 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

本市における新型コロナウイルスワクチンの接種状況は以下のとおりです。※令和4年3月18日時点

初回接種（1, 2回目接種）				追加接種（3回目接種）		
対象者区分	対象者数	1回目接種済	2回目接種済	対象者区分	対象者数	接種済
65歳以上	7,462名	6,987名 (93.6%)	6,955名 (93.2%)	65歳以上	6,955名	6,126名 (88.1%)
12歳～64歳	8,334名	6,822名 (81.9%)	6,766名 (81.2%)	18歳～64歳	6,202名	2,683名 (43.3%)
全年齢 ※12歳以上	15,796名	13,809名 (87.4%)	13,721名 (86.9%)	全年齢 ※18歳以上	13,157名	8,809名 (67%)

※初回接種は12歳以上の方、追加接種は初回接種を接種された18歳以上の方が対象となります。
最新の情報は市公式サイトをご覧ください。

市公式サイト



2 ワクチン接種の予約方法について

新型コロナウイルスワクチンの予約方法は、年齢、接種回数によって異なります。接種を希望される方は、下記を参照していただきご予約をお願いいたします。

- 12歳以上の方
 - (1)初回接種（1、2回目接種）
 - ①電話予約のみ（下記問い合わせ先へお電話ください）
 - (2)追加接種（3回目接種）※追加接種は18歳以上の方が対象です
 - ①電話予約（下記問い合わせ先へお電話ください）
 - ②LINEでの予約（右記をご参照ください）
- 5歳～11歳の方
 - (1)初回接種（1、2回目接種）
 - ①電話予約のみ（下記問い合わせ先へお電話ください）
 - (2)追加接種（3回目接種）※追加接種は18歳以上の方が対象です
 - ①電話予約（下記問い合わせ先へお電話ください）
 - ②LINEでの予約（右記をご参照ください）



LINEでの予約方法

- 申間市公式LINEから予約ができます。
- ①QRコードを読み取り、申間市公式LINEのお友達登録をする。
 - ②申間市からの情報受信設定の開始をタップ。
 - ③受信したい情報を選択しアンケートに答える。
 - ④トーク画面に左記アイコンが表示されるので、タップして予約開始。



3 申間市へ転入された方へ

本市に転入された方で、新型コロナウイルスワクチン接種を希望される場合は、本市が発行する接種券が必要です。転出元で発行された接種券は使用できません。

つきましては、新型コロナウイルスワクチンの接種歴を確認の上、接種券を発行いたしますので、接種を希望される方は、転出元自治体で発行された接種券を持参し、下記問い合わせ先にお越しください。

- 【必要書類】 ・転出元市町村で発行された接種券(持っている方のみ)
・マイナンバーカードなど身分の証明ができる書類

申間市新型コロナウイルスワクチン接種対策室（市総合保健福祉センター内）

ワクチン接種に
関する問い合わせ

☎72-5678

FAX 72-7100【月～金曜：午前8時半～午後5時15分】
※予約は午前9時～午後4時

市長コラム

出会いと 別れの春

グイスは「ホーホケキヨ」ではなく「ホキヨ」と鳴いていて、「これはまだ1年生なのかな」「鳴き声で自分たちの縄張りを維持しているのかな」と思うこともあり、想像をかき立てられながら、小鳥の声に癒やされています。しかし世界に目を向けると、このような安らぎのない国もあります。

ウクライナではロシアによる侵襲が止まらず、多くの尊い命が失われています。どのような理由があっても、人の命を犠牲にして目的を成し遂げることは許されません。命の尊さを重んじるべきです。平和でみんなが仲良く生活でき、子どもたちが明るい未来を夢見ることができる社会であってほしい。巣立つていく子どもたちが、希望をもってこの春を感じられるように。

春は卒業で友人や恩師との別れがあり寂しさを感じることはありませんが、進学、就職といった先々での新たな出会いもある、そんな出会いと別れの季節であります。期待や不安を胸に、大きな夢を膨らませて旅立つ子どもたち。新たな出会いの中で、悲しみや苦しみ、楽しさなどさまざまな経験を重ねて、一人前の社会人となると思います。私もこの時期は若き日のころをよく思い出します。

最近ようやく暖かくなりましたが、若者に負けまいと健康運動として朝の散歩を始めました。裏山の林道を上がり自宅に帰るまで、約20分間かけて2,100歩ほど歩いていきます。林道の傾斜はきつく、上がると息が上がり「年のせいかな」と少し気分が沈みますが、「俺にはまだ夢がある」と自分に言い聞かせ、健康運動に励んでいます。峠で朝の皆さんとした太陽の光を体に浴びて、大きな深呼吸をすると、とても気持ちがいいです。また山からはさまざまなお鳥の鳴き声が聞こえてきます。ウ



申間いちご畑につか農園に咲くハナモモ

地域おこし協力隊 活動日記



新しい 農業のカタチ

No.60



かいみちと
甲斐 道仁さん

昨今よく見聞きするようになった「カーボンニュートラル」。2050年までにCO₂実質排出量ゼロを目指す環境を保全した持続可能な社会を形成していくために世界が動いています。日本でも実現に向けた取り組みが各種産業界に達されて本格的な動きが始まっています。その中で農業に関わる目指す姿と取り組み方向として、①2050年までに温室効果ガスの農林水産業CO₂ゼロエミッション化を目指す、②2050年までに化石燃料を使用しない施設栽培へ完全移行を目指す、③2040年までにネオニコチノイド系農薬を含む従来の殺虫剤を使用しなくてもすむような新規農薬などの開発、2050年までに化学農薬使用量（リスフ換算）の50%低減を目指す、④2050年までに輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量の30%低減を目指す、⑤多くの農業者が有機農業に取り組めるよう、2040年までに次世代有機農業に関する技術確立し、オーガニック市場を拡大させ2050年までに有機農業の取り組み面積を100万ヘクタールに拡大することを目指すことが明記されています。

③の農薬と④の肥料については日々使われるものですが、申間で作られているピーマンは以前から「特別栽培農産物」という枠組みで生産されています。特別栽培農産物とは節減対象農薬の使用回数が地域慣行栽培の5割以下、化学肥料の窒素成分量が地域慣行栽培の5割以下で生産した農産物のことです。つまり③と④はすでに取り組み済みなんですよね。早い段階から時流に乗って先見の明がありますよね。

しかし、そうは言ってもこの5つのミッションをクリアすることは容易なことではありません。新たなエネルギー源の開発と確保、斬新な代替技術の研究開発、減少の1途をたどっている農業従事者の人口を底上げしつつ、機械化を進めて効率的に広大な面積を耕作して生産性を向上させることが必要です。さまざまに分野の企業が切磋琢磨し、個人・地域が団結し協力し合っているから遠いゴールが少しずつ見えてくるのだと思います。

道のりはまだまだ遠く始まったばかりですが、これが達成された時の農業は今とは大きく様変わりした姿になっているでしょう。そう考えるとワクワクが止まりませんね！しかし2050年は僕もおじいちゃんだな…